

新・クルちゃんの つぶやき

No.153

**破碎ごみに焼却ごみの区分のものが
混入しているよ。分別方法を確認してね。**

環境センターの破碎ごみ置き場では、破碎ごみを適正に処理するため、焼却区分のごみや危険物(スプレー缶、電池類など)の除去など、職員が手作業で仕分けをしています。



正しい分別は、環境センターの作業の効率化や、火災事故などの防止にもつながります。

分別の徹底をお願いします。



破碎ごみの中に入っていたプラスチック製の容器

ごみ減量推進課

☎・有(584)4692

FAX(584)4818

ごみ分別
アプリ
配信中!



iOS版



Android版

消費生活センター情報

No.73

くらしの友より

令和5年度 消費生活相談のふりかえり

令和5年度に市消費生活センターに寄せられた相談件数は537件で、令和4年度の510件から増加となりました。主な相談としては、インターネットを介したトラブルが全体の約30%を占めました。特に、SNS上の広告がきっかけの定期購入トラブルや、SNS上で知り合った相手からの誘いがきっかけの投資トラブルなど、SNSに関わる相談が増加しました。また、サブスクリプション契約で、無料だと思っていたが有料契約になっていたという相談も年齢・性別を問わず複数ありました。

啓発では、10回の出前講座を行いました。今年度も消費生活相談員が出前講座を実施しますので、ぜひご利用ください。

消費生活センターは、市役所1階11番窓口 生活支援相談課内にあります。電話相談も対応しています。何かおかしいと感じたら一人で悩まず、すぐにご相談ください。

消費生活センター(生活支援相談課内)

☎(582)1146 FAX(582)1138

美術館の椅子

佐川美術館—アートコラム ⑧

学芸員 佐川美術館
上村友理



美術館と聞いて、イメージする展示品は何でしょうか。

美術館は館の収集方針などに沿って、古今東西のさまざまな芸術作品が収蔵されています。その中には、絵画や彫刻作品はもとより、椅子などの家具も含まれています。有名な作品では、美術の教科書に掲載されたことのある倉俣史朗作「ミス・ブランチ」、柳宗理作「バタフライスツール」、ハンス・J・ウエグナー作「Yチェア」などです。この他にも名作と評される椅子は数多あり、「椅子の美術館」の異名をとる埼玉県立近代美術館のように椅子をコレクションしている美術館もあります。

本来は調度品として日常使いされる椅子ですが、家具としての機能性とデザイン性が追求されるにつれ、次第に独自の美しさを有する芸術作品としても扱われるようになりました。他の芸術作品とは違い、鑑賞するだけではなく実際に座れる体験展示が行えるのも、家具としての側面を持つ椅子ならではと言えます。

佐川美術館では、展示室内やカフェで、デンマークが誇る家具デザイナーの巨匠・ウエグナーの椅子に実際に座ることが出来ます。何気なく座っていた椅子が実は名作というのは、うれしい驚きにつながることでしょ。気負いなく名作に触れ、触覚から感性を養うのも芸術鑑賞の方法の一つです。美術館を訪れる際には、館内にさりげなく置かれた椅子にもぜひ注目してみてください。

※開館情報は、佐川美術館ホームページでご確認いただくか、電話☎(585)7800]でお問い合わせください。